

2009年3月5日 NEWS RELEASE No.51

『第3回 しょうゆ感想文コンクール』入賞者決定！

—全国の小学生(3年～6年)から、1,561点の応募—

日本醤油協会(会長 濱口道雄)では「食育」推進の一環として、「第3回しょうゆ感想文コンクール」を実施いたしました。

この感想文コンクールは、「食育」推進の一環として実施している「しょうゆもの知り博士の出前授業」や「工場見学」「学校の調べ学習」と連動した企画で、全国の小学生(3年生～6年生)を対象に、それぞれの部門で体験したことを感想文という形で記録にとどめていただくために、広く自由な発想の感想文を募集した企画です。(平成20年12月25日応募締め切り)

全国の児童から3部門に1,561点(「出前授業部門」:1,155点、「工場見学部門」:251点、「調べ学習部門」:155点)の応募をいただきました。それぞれの部門に日本の伝統調味料・しょうゆについて、子供らしい感性豊かな感想文が数多く寄せられました。

去る2月26日(木)に、下記の選考委員による「審査委員会」を開催し、厳正な審査の結果、別紙のとおり、各部門の受賞作品を決定いたしました。

なお、「審査委員会」では、予備審査を通過した114点の作品の中から、A:創造性(構想力)、B:文章力、C:発展性、等を選考基準として、厳正な選考を行いました。

《第3回「しょうゆ感想文コンクール」審査委員(敬称略・順不同)》

嶋野道弘(文教大学教授/日本生活科・総合的学習教育学会会長)
奈須正裕(上智大学総合人間科学部教育学科教授)
畑江敬子(和洋女子大学教授/お茶の水女子大学名誉教授)
松田博康(玉川大学講師/元東京都中央区佃島小学校校長)
延賀彥彦(全国醤油工業協同組合連合会副会長・醤油PR運営委員会委員長)
金子 収(日本醤油協会専務理事)

また、「第4回 しょうゆ感想文コンクール」は、「出前授業部門」「工場見学部

門」「調べ学習部門」を対象にして、本年4月より開始いたします（応募締め切り：12月25日予定）。これまで以上に全国の多くの児童の皆さんからのご応募をお待ちしています。

以上の件に関する取材のお問合せは

しょうゆ情報センター（醤油PR協議会）

小倉 克彦（事務局長）、中川美代子

住所 東京都中央区日本橋小網町3-11（〒103-0016）

電話 03-3666-3286 FAX 03-3667-2216

URL : <http://www.soyssauce.or.jp> E-mail soyic@soysauce.or.jp

「第3回しょうゆ感想文コンクール」最優秀賞 講評（審査委員会）

●「出前授業部門」 最優秀賞

「しょうゆについて知った日」小山結愛さん（神奈川県・茅ヶ崎市立浜須賀小学校）

多くの子どもが「知っているようで実は知らなかった」しょうゆ。その「実は知らなかった」しょうゆについて、新たに知ったことの数々、その驚きと喜びの過程が伸びやかに表現されていて、とても明るい気持ちになる作品です。

さらに、しょうゆ料理のみならず、それを味わう人間の体へと視点を広げたところに、深く感心させられました。レモンとの比較からそのテーマを展開しているところも、独自性があるとてもよいと思います。

友だちとの会話や家族とのつながりにも触れられており、書き手の豊かな人間性が感じられ、これからの成長がとても楽しみです。

●「工場見学部門」 最優秀賞

「しょうゆはスーパーマン」黒沢優子さん（千葉県・国府台女子学院小学部）

単に工場見学で知ったことや学んだことを振り返るだけではなく、そこから興味を広げて独自に学習を発展させた点が高く評価できます。

工場見学で学んだしょうゆの発酵の過程について、自身がきちんと納得するまで学びを深め、さらに歴史や文化へと、書き手の中にある学びへの強い意欲が「しょうゆ」を軸に展開されていることは、「しょうゆ」づくりに携わるも者にとって大きな喜びといえます。

さらには、その学びを振り返って自らの生活に目を向けたとき、家族思いの祖母の愛情料理へと立ち戻っていく……この話の展開に心温まる思いがしました。

●「調べ学習部門」 最優秀賞

「お醤油づくりをして」宮前優奈さん（埼玉県・神川町立神泉小学校）

しょうゆの手づくりに挑戦！ というチャレンジ精神の高さと、作文としての完成度の高さ、その二つを持ち合わせた秀作です。

しょうゆを手づくりするという実体験を通して、言葉のうえだけではない実感としての「ものづくり」の奥深さとそこに付随する大変さを掴み取っていく過程は、読みながらワクワクさせられました。

文章面においても、しょうゆづくりの中で実際に体験した五感の感覚をきちんと文中に表現しているところが高く評価できます。

ご家族が協力している点などもあわせて、他者の見本となるような体験・学びと表現になっています。

第3回しょうゆ感想文コンクール 入賞者一覧

主催：日本醤油協会

2009年3月5日

審査委員：嶋野道弘(文教大学教授)、奈須正裕(上智大学教授)、
 畑江敬子(和洋女子大学教授)、松田博康(玉川大学講師)、
 延賀或彦(全国醤油工業協同組合連合会副会長・醤油PR運営委員会委員長)、金子 収(日本醤油協会専務理事)

賞名	受賞者詳細							
1. 最優秀賞 (各部門1点・計3点)	部門	1. 出前授業	県名	神奈川県	学校名	茅ヶ崎市立浜須賀小学校	学年	5
	作品名	しょう油について知った日				氏名	小山結愛	
	部門	2. 工場見学	県名	千葉県	学校名	国府台女子学院小学部	学年	5
	作品名	しょうゆはスーパーマン				氏名	黒沢優子	
2. 優秀賞 (各部門1点・計3点)	部門	3. 調べ学習	県名	埼玉県	学校名	神川町立神泉小学校	学年	6
	作品名	お醤油づくりをして				氏名	宮前優奈	
	部門	1. 出前授業	県名	石川県	学校名	川北町立川北小学校	学年	6
	作品名	しょうゆのいろいろ				氏名	番匠海恋	
3. 佳作 (各部門5点・計15点)	部門	2. 工場見学	県名	千葉県	学校名	野田市立北部小学校	学年	6
	作品名	KIKKOMAN SOY SAUCE !				氏名	林唯奈	
	部門	3. 調べ学習	県名	秋田県	学校名	能代市立鶴形小学校	学年	6
	作品名	食卓で大活躍のしょう油				氏名	小林紗耶	
3. 佳作 (各部門5点・計15点)	部門	1. 出前授業	県名	三重県	学校名	玉城町立外城田小学校	学年	3
	作品名	しょう油のひみつ				氏名	渡邊奈美	
	部門	1. 出前授業	県名	大分県	学校名	大分市立野津原東部小学校	学年	3
	作品名	しょうゆ博士がやって来た				氏名	山田直澄	
	部門	1. 出前授業	県名	埼玉県	学校名	鳩ヶ谷市立辻小学校	学年	3
	作品名	しょうゆ				氏名	二階堂優海	
	部門	1. 出前授業	県名	福井県	学校名	福井大学教育地域科学部附属小学校	学年	6
	作品名	しょうゆ出前授業を初めて体験して…。				氏名	広瀬智咲	
	部門	1. 出前授業	県名	福井県	学校名	福井大学教育地域科学部附属小学校	学年	6
	作品名	味はシェフ(カビ)のうでしだい				氏名	布施田和音	
	部門	2. 工場見学	県名	広島県	学校名	大崎上島町立東野小学校	学年	3
	作品名	ひみつがいっぱい、おいしさいっぱい				氏名	正出七瀬	
	部門	2. 工場見学	県名	兵庫県	学校名	加西市立日吉小学校	学年	3
	作品名	三代目も高橋しょうゆ大好き!				氏名	織部有彩	
	部門	2. 工場見学	県名	福岡県	学校名	宗像市立赤間小学校	学年	3
	作品名	しょう油ってすごい				氏名	清水悠花	
	部門	2. 工場見学	県名	福岡県	学校名	宗像市立赤間小学校	学年	3
	作品名	まほうのしょうゆ				氏名	濱崎祐衣	
	部門	2. 工場見学	県名	岩手県	学校名	陸前高田市立長部小学校	学年	3
	作品名	お父さんはしょう油はかせ				氏名	吉田美波	
	部門	3. 調べ学習	県名	長崎県	学校名	佐々町立佐々小学校	学年	4
	作品名	しょう油や大豆について				氏名	中山聖那	
	部門	3. 調べ学習	県名	和歌山県	学校名	智辯学園 和歌山小学校	学年	6
	作品名	しょう油屋				氏名	小林藍	
部門	3. 調べ学習	県名	和歌山県	学校名	智辯学園 和歌山小学校	学年	6	
作品名	日本の醤油				氏名	加藤直暉		
部門	3. 調べ学習	県名	群馬県	学校名	沼田市立沼田小学校	学年	4	
作品名	醤油を調べて				氏名	根岸美鈴		
部門	3. 調べ学習	県名	群馬県	学校名	沼田市立沼田小学校	学年	4	
作品名	しょうゆ調べ学習				氏名	羽鳥あずか		
4. 審査委員特別賞 (各部門1点・計3点)	部門	1. 出前授業	県名	東京都	学校名	大田区立矢口東小学校	学年	5
	作品名	しょう油の味				氏名	本間裕貴	
	部門	2. 工場見学	県名	福岡県	学校名	宗像市立東郷小学校	学年	3
	作品名	ふしぎなもろみ				氏名	小林桃子	
部門	3. 調べ学習	県名	岐阜県	学校名	岐阜市立長良小学校	学年	3	
作品名	ひみついっぱいいたまりしょうゆ				氏名	水谷春野		

※学年は平成20(2008)年度です。

賞名	県名	学校名
団体奨励賞(1校)	神奈川県	茅ヶ崎市立浜須賀小学校